

校長室より ～「新・山吹の風」 No.25 R7.2.21 ～

寒明け後の寒さを「余寒」といいます。ここ数日の寒さは少し厳しいものがありますね。しかし光の強さや、地の柔らかさなどに、季節は着実に進んでいることに気づきます。あたたかな春はもうすぐです。

鎌倉を驚かしたる余寒あり 高浜虚子

さて、14日に2年生を対象に「ライフデザイン講座 ファミリーハート～生け花講座～」が行われました。テーマは「愛する人のために花を生けてみよう」。花を生けることで、生命あるものへの慈しみの気持ちが生まれます。そして「愛する人」が喜んでくれるにはどうすればよいだろう、と思いを馳せることで、他者本位の視点が育まれます。どうかこの学びを今後活かして欲しいと思います。「花のある生活」は「心の豊かさ」を育みます。また「美しいものに対する感性」も育みます。花を愛でる気持ちで他者を眺め、世の中を眺め、労り、思いやりのやる社会を築いて欲しいと思います。

シュレツダー音に<sup>ひび</sup>罅ある余寒かな 幸恵

